

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社やまや  
 コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山内 英靖  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 久野 朋美  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 022-742-3115

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	66,946	—	1,355	—	1,326	—	669	—
20年3月期第3四半期	59,123	3.8	963	△23.3	960	△32.6	569	△17.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	67.91	—
20年3月期第3四半期	57.77	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	38,789	—	15,280	—	39.4	—	1,549.48	—
20年3月期	29,645	—	14,796	—	49.9	—	1,500.41	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 15,280百万円 20年3月期 14,796百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	16.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	88,500	16.8	1,050	△1.0	1,000	△4.1	505	△10.5	51.21	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 2社(社名 楽市株式会社 スピード株式会社) 除外 1社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 9,861,700株 20年3月期 9,861,700株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 89株 20年3月期 89株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 9,861,611株 20年3月期第3四半期 9,861,611株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国の経済は、世界的な金融不安の影響により先行きの不透明感も強く、個人の消費マインドの低下は一層強まり、景気は大きく後退傾向にあります。

酒販業界におきましては、景況感に伴う消費者の生活防衛意識の高まりから、外食外飲の業務需要が低迷し、ビールより価格の安い発泡酒、新ジャンルが伸張し、家庭消費は比較して堅調に推移しました。

このような中、10月1日より当社の完全子会社である楽市株式会社は、株式会社前田（大阪府池田市）から酒販事業を承継し、大阪、兵庫の阪神地域および福岡県で「酒の楽市」として49店舗の展開を開始いたしました。

当第3四半期末までに、六甲道店（兵庫県）、高崎店（群馬県）、西多賀店（宮城県）、一関店（岩手県）の4店舗を新規出店し、既存店の活性化を図るため、赤坂店（東京都）、桜木町店（千葉県）、紫竹山店（新潟県）、「酒の楽市」箕面船場店（大阪府）、「酒の楽市」西宮今津店（兵庫県）など16店舗の改装を行なったほか、3店舗を閉店いたしました。

その結果、当社グループの店舗数は、236店舗（当四半期末）となりました。

新ジャンル「ぐぐっと生」、発泡酒「白泡楽園糖質ゼロ」などPB商品の販売を促進し、生活防衛型消費に対応し、エコ対策として、ペットボトル入りのボージョレヌーヴォーを初めて販売いたしました。歳末は、楽市、やまや合同で、ギフト企画、帰省需要へ対応いたしました。

これらの結果、当連結会計累計期間の売上高は、既存店売上高が好調であったこと、新たに楽市株式会社の売上が加わったことにより669億46百万円（前年同期比113.2%）となりました。楽市株式会社の事業承継に伴う、のれん償却を47百万円計上したことにより、販管費の増加があったものの、営業利益は13億55百万円（同140.6%）、経常利益は13億26百万円（同138.0%）となりました。また、店舗の減損損失計上などによる特別損失79百万円を計上したため、四半期純利益は6億69百万円（同117.5%）となりました。

なお、株式会社スピード（大阪府枚方市）より、会社分割によって同社の酒類及び雑貨販売事業を承継するため、当社100%出資の子会社スピード株式会社を設立し、両者は、12月8日に分割契約書を締結しました。会社分割の効力発生日は本年5月1日を予定しております。

※経営成績に関する定性的情報の前年同期増減率は、参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べて91億43百万円（30.8%）増加し、387億89百万円となりました。流動資産は、現金預金が33億95百万円増加し、商品が22億37百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて77億47百万円（61.8%）増加し、202億78百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末と比べて13億96百万円（8.2%）増加し、185億10百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末と比べて86億59百万円（58.3%）増加し、235億9百万円となりました。流動負債は、短期借入金で32億50百万円増加し、買掛金で55億8百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて91億34百万円（70.3%）増加し、221億32百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比べて4億74百万円（△25.6%）減少し、13億76百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて4億83百万円（3.3%）増加し、152億80百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローでは、33億49百万円を得ております。これは主に、たな卸資産が22億23百万円の増加、仕入債務が55億8百万円増加したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、24億34百万円を使用しております。これは主に、有形固定資産の取得による支出で5億18百万円、事業譲受による支出で20億円などによるものです。投資につきましては、今後も効率的な投資に注意し、投資回収計画を事前に十分練り上げて実施します。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、24億82百万円を得ております。これは、長期借入金の返済に6億9百万円と配当金の支払に1億57百万円を支出したものの、短期借入金で32億50百万円増加したことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は48億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して33億95百万円の増加となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後も経営環境は厳しい状況が続くものと思われませんが、当社グループは、事業承継した「酒の楽市」を含め、やまやグループの売上向上に努め、業績予想数値の達成を図ってまいります。

現時点では、当期の連結業績予想につきまして、平成20年10月31日に発表しました連結業績予想を変更いたしておりません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、平成20年7月24日に酒類・食料品等の小売を目的として子会社楽市株式会社を設立しております。また、平成20年11月20日に酒類・食料品・雑貨等の小売を目的として子会社スピード株式会社を設立しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。  
これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,354千円減少しております。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

平成20年度の法人税法の改正に従い、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数の見積りの変更を実施しました。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,861,276	1,466,003
売掛金	1,311,065	825,115
商品	10,820,007	8,582,996
製品	14,386	78,572
仕掛品	47,641	—
前払費用	312,098	226,501
繰延税金資産	167,493	153,068
その他	2,745,309	1,199,144
貸倒引当金	△297	△176
流動資産合計	20,278,981	12,531,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,341,117	13,677,496
減価償却累計額	△7,354,390	△6,997,108
建物及び構築物(純額)	6,986,727	6,680,387
機械装置及び運搬具	2,263,404	2,238,772
減価償却累計額	△1,254,651	△1,087,556
機械装置及び運搬具(純額)	1,008,753	1,151,215
工具、器具及び備品	3,914,193	3,807,624
減価償却累計額	△2,931,962	△2,832,854
工具、器具及び備品(純額)	982,230	974,769
土地	5,125,318	4,851,018
建設仮勘定	12,064	8,268
有形固定資産合計	14,115,093	13,665,659
無形固定資産		
のれん	425,762	—
ソフトウェア	26,435	33,376
電話加入権	20,244	20,244
施設利用権	3,658	4,085
その他	3,248	3,538
無形固定資産合計	479,350	61,244
投資その他の資産		
投資有価証券	244,672	290,738
関係会社株式	264,516	229,619
出資金	2,698	2,569
破産更生債権等	36,000	36,000
長期前払費用	80,017	55,344
差入保証金	3,075,841	2,622,262
繰延税金資産	245,222	183,972
その他	40,396	40,396
貸倒引当金	△73,196	△73,196
投資その他の資産合計	3,916,168	3,387,707
固定資産合計	18,510,612	17,114,611
資産合計	38,789,593	29,645,839

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,405,731	4,896,998
短期借入金	9,150,000	5,900,000
1年内返済予定の長期借入金	762,400	812,400
未払金	593,416	528,343
未払費用	379,070	220,741
未払法人税等	390,045	262,682
未払消費税等	71,043	114,855
預り金	110,947	17,382
賞与引当金	160,112	217,624
その他	109,831	26,799
流動負債合計	22,132,599	12,997,826
固定負債		
長期借入金	382,900	942,200
退職給付引当金	537,565	480,908
役員退職慰労引当金	395,680	391,730
その他	60,511	36,674
固定負債合計	1,376,656	1,851,512
負債合計	23,509,255	14,849,338
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,247,330	3,247,330
資本剰余金	6,055,252	6,055,252
利益剰余金	5,974,518	5,462,625
自己株式	△65	△65
株主資本合計	15,277,036	14,765,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,302	31,358
評価・換算差額等合計	3,302	31,358
純資産合計	15,280,338	14,796,500
負債純資産合計	38,789,593	29,645,839

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	66,946,390
売上原価	56,466,653
売上総利益	10,479,737
販売費及び一般管理費	9,124,266
営業利益	1,355,470
営業外収益	
受取利息	4,132
受取配当金	3,772
不動産賃貸料	21,298
受取手数料	40,098
業務受託手数料	21,330
持分法による投資利益	34,897
その他	52,434
営業外収益合計	177,964
営業外費用	
支払利息	57,471
店舗改装費用	15,207
店舗閉鎖損失	96,018
その他	38,316
営業外費用合計	207,014
経常利益	1,326,420
特別損失	
固定資産除却損	6,421
災害による損失	3,626
減損損失	69,076
特別損失合計	79,124
税金等調整前四半期純利益	1,247,296
法人税、住民税及び事業税	634,272
法人税等調整額	△56,655
法人税等合計	577,616
四半期純利益	669,679

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,247,296
減価償却費	914,928
減損損失	69,076
長期前払費用償却額	15,838
のれん償却額	47,306
持分法による投資損益(△は益)	△34,897
支払利息	57,471
受取利息及び受取配当金	△7,904
固定資産除売却損益(△は益)	6,421
賞与引当金の増減額(△は減少)	△57,512
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56,657
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,950
未収入金の増減額(△は増加)	△1,163,404
売上債権の増減額(△は増加)	△485,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,223,332
仕入債務の増減額(△は減少)	5,508,733
その他	△30,350
小計	3,924,327
利息及び配当金の受取額	5,797
利息の支払額	△57,884
法人税等の支払額	△522,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,349,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△1,007
有形固定資産の取得による支出	△518,142
有形固定資産の売却による収入	102
事業譲受による支出	△2,000,000
長期前払費用の取得による支出	△4,025
差入保証金の差入による支出	△42,648
差入保証金の回収による収入	131,778
その他	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,434,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,250,000
長期借入金の返済による支出	△609,300
配当金の支払額	△157,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,482,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,866
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,395,273
現金及び現金同等物の期首残高	1,466,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,861,276

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当連結グループは同一セグメントに属する酒類等販売事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当連結グループは、国内に所在しているため、所在地別の売上高及び営業利益についての記載は行っておりません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高はないため、記載は行っておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
I 売上高		59,123,680	100.0
II 売上原価		49,926,529	84.4
売上総利益		9,197,151	15.6
III 販売費及び一般管理費		8,233,194	13.9
営業利益		963,956	1.7
IV 営業外収益			
1. 受取利息	3,685		
2. 受取配当金	7,996		
3. 賃貸料収入	18,542		
4. 情報提供手数料	48,537		
5. 通関代行手数料	20,865		
6. 持分法による投資利益	18,023		
7. その他の営業外収益	36,936	154,588	0.3
V 営業外費用			
1. 支払利息	51,415		
2. 店舗改装費用	21,818		
3. 店舗閉店諸費用	46,833		
4. その他の営業外費用	37,606	157,674	0.3
経常利益		960,869	1.7
VI 特別利益			
1. 受取営業補償金	76,087		
2. その他の特別利益	9,823	85,910	0.1
VII 特別損失			
1. 固定資産除却損	7,982		
2. 地震被災損失	13,563		
3. 過年度役員退職慰労金引当金繰入額	3,620	25,165	0.0
税金等調整前四半期純利益		1,021,615	1.8
法人税、住民税及び事業税	372,303		
法人税等調整額	79,609	451,913	0.8
四半期純利益		569,701	1.0

## (2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前第3四半期純利益	1,021,615
減価償却費	820,557
長期前払費用償却	6,838
負ののれん償却額	△3,261
持分法による投資損失	△18,023
支払利息	51,415
受取利息及び配当金	△11,682
固定資産除売却損益	5,477
賞与引当金の減少額	△80,417
退職給付引当金の増加額	50,144
役員退職慰労金引当金の増加額	13,990
未収入金の増加額	△1,384,820
売掛金の増加額	△505,458
たな卸資産の増加額	△1,764,364
仕入債務の増加額	3,163,228
その他	△21,384
小計	1,343,854
利息及び配当金受取額	10,000
利息の支払額	△45,318
法人税等の支払額	△855,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	453,012
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資有価証券の取得による支出	△19,613
有形固定資産取得による支出	△1,541,263
無形固定資産の取得による支出	△600
長期前払費用取得による支出	△9
差入保証金の支払による支出	△60,035
差入保証金の回収による収入	141,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,480,158
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増加額	3,150,000
長期借入金の返済による支出	△735,000
配当金の支払額	△157,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,257,214
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	417
<b>V 現金及び現金同等物の減少額</b>	1,230,486
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	2,599,553
<b>VII 現金及び現金同等物の第3四半期末残高</b>	3,830,039